

SERIES PARASHADE

パラシェード ハーフ® / クォーター® / レクタングル

突っ張り棒1本で設置できる、日かげスペース広々の日よけオーニングです。

設置・取扱説明書

パラシェードハーフ®(半円型)

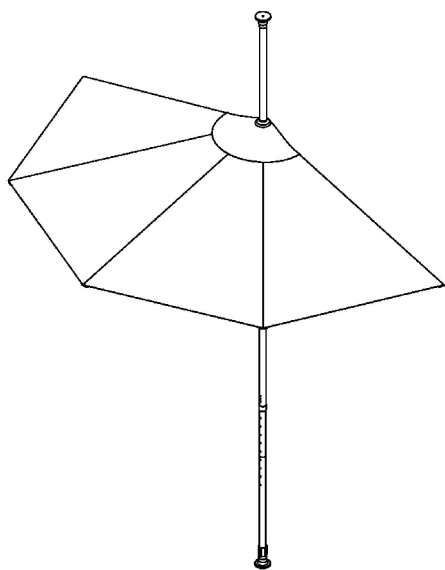
- (約) 幅 300cm × 出幅 150cm アイボリー色 PDHA2-IV
- (約) 幅 300cm × 出幅 150cm グレー色 PDHA2-GY

パラシェードクォーター®(1/4 円型)

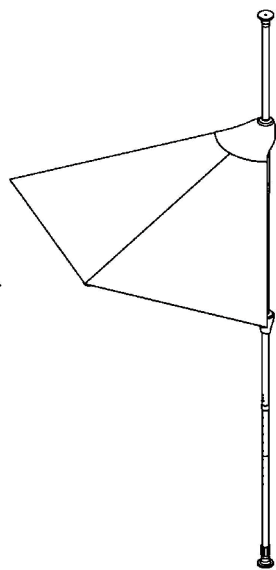
- (約) 幅 150cm × 出幅 150cm アイボリー色 PDQT2-IV
- (約) 幅 150cm × 出幅 150cm グレー色 PDQT2-GY

パラシェードレクタングル(長方形型)

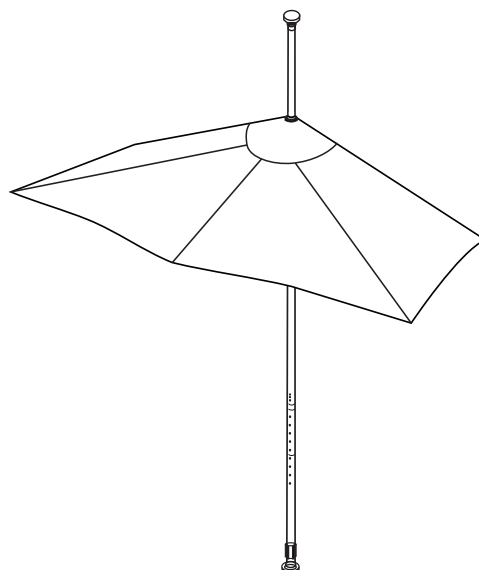
- (約) 幅 200cm × 出幅 100cm アイボリー色 PDRT1-IV
- (約) 幅 200cm × 出幅 100cm グレー色 PDRT1-GY



パラシェードハーフ®



パラシェードクォーター®



パラシェードレクタングル

特許取得済(第672619号)

PATENT PENDING





MADE IN CHINA

必ずお読みください。

「設置・取扱説明書」

このたびはパラシェード ハーフ・クォーター・レクタングルをお買い求め頂き、誠に有難うございます。パラシェード ハーフ・クォーター・レクタングルは、突っ張り棒を利用して設置する日よけオーニングです。設置・お取扱いの際には必ずこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになって正しくお使いください。またお読みになった後は大切に保管してください。

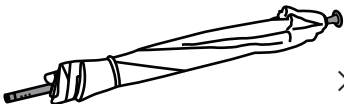


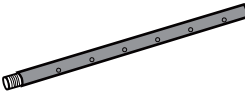
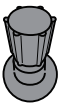
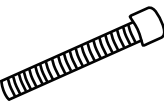



本書では、製品を安全にご利用頂くために次の絵表示を使用して、お守り頂く事項の内容を区分しております。

| |
|--|
|  警告 この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に重傷を負う可能性や死亡につながる可能性が想定されます。 |
|  強制 この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為を指示する『強制』行為を示しております。 |
|  禁止 この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為をしてはいけないという『禁止』行為を示しております。 |
|  注意 この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に怪我を及ぼしたり本製品を破損したりする可能性があります。 |

- ⚠ 警告** 本製品を次のような場所には設置できません。
高層階のベランダなど、強風や地震等による転倒・落下が想定される場所。避難口や避難はしご等の使用を妨げる場所。その他使用時において、安全性に欠けると思われる場所。
- 🔧 強制** 設置前に必ずご確認ください。
突っ張り棒の受け面(床及び天井)が十分に硬くて丈夫なこと。また長期間、強い圧力や強い振動があっても変形しない面であること。(目安は金づちで叩いても変形・破損しない面であること) 突っ張り棒の受け面が水平面に対してプラスマイナス2度以内であること。
- 🔧 強制** ご利用中に必ず実施してください。
パラソルを開く時は回転ハンドルをゆっくりと回し、パラソルの骨組が正しい方向に可動していることや、骨組が窓や壁にぶつかっていないことをご確認ください。
1週間に1度以上の頻度で本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みが無いことをご確認ください。風がある際にはパラソルを畳み、ご使用にならないでください。
強風の際には本体を設置場所から取り外し、屋内に保管してください。
- 🚫 禁止** 故障の原因になります。
パラソルを開く際、パラソルの骨組が間違った方向に可動している可能性があります。その場合は一度回転ハンドルを逆方法に回してパラソルを閉じ、パラソルの骨組の可動方向に注意しながら再度ゆっくりと開いてください。設置後、本体を左右方向に回転させないでください。
- ⚠ 注意**
本製品のパラソル生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。

部品表

本製品を開封したら、最初に下表の部品及び数量を確認してください。
また⑥と⑧を締めるのに、スパナ(10mm)と六角レンチ(5mm)をご用意ください。

| | | |
|---|---|---|
| ①本体 (上部パッド、ボルト、ワッシャー、袋ナット付)  × 1 | ②天井ポール  × 1 | ③上部ポール(フック付)  × 1 |
| ④下部ポール  × 1 | ⑤下部ダイヤルパッド  × 1 | ⑥ボルト  × 2 |
| ⑦ワッシャー  × 2 | ⑧袋ナット  × 2 | ⑨ホールキャップ  × 24 |

それでは実際に作業を開始しましょう。

以下の手順に従って、安全に作業を開始してください。

1. 設置環境の確認

下記事項を確認し、取付け場所として適しているか否かを確認してください。

a. 突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面であること。

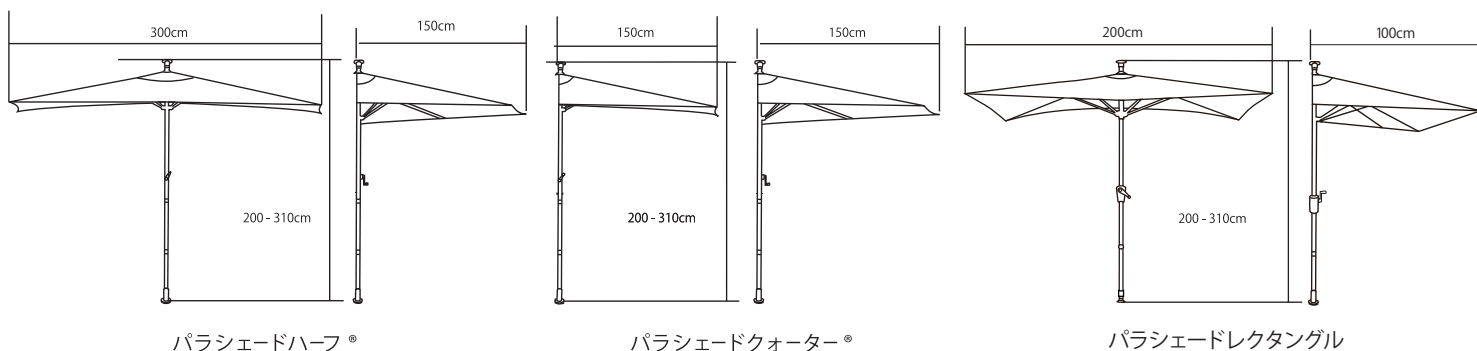
また長期的に強い圧力が掛かったり、強い振動を与えたりしても変形しない面であること。

(500kg 以上の押さえ圧に耐えられる面。目安は金づちで叩いても変形・破損しない面)

=突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面でないと、本製品は設置できません。

b. 突っ張り棒の受け面(天井・床)が水平面から見てプラスマイナス2度以内であること。

c. 取付け場所の寸法が、本製品の規定範囲内であること。

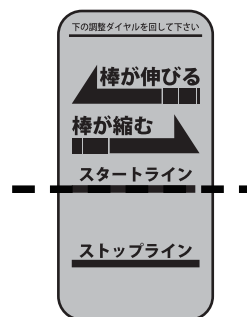
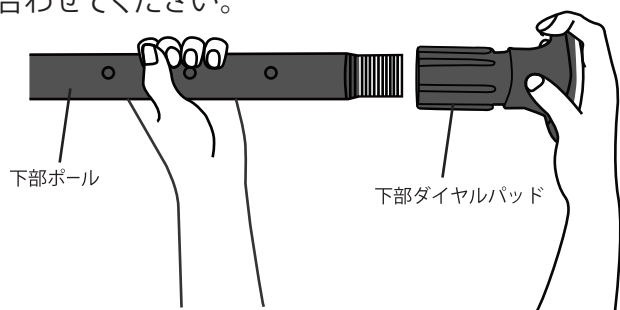


2. 設置

以下手順に従って設置してください。

A. 下部ダイヤルパッドの接続

④下部ポールに⑤下部ダイヤルパッドを回しながら接続し、⑤の上端がシールの"スタートライン"に重なる位置に合わせてください。



B. 設置場所の測定と、必要なポールの接続

1. 設置する場所の床から天井までの長さを測定し、次ページ表1にて測定した長さに必要な、"本体に接続するポール"(天井ポール・上部ポール・下部ポール)を確認してください。

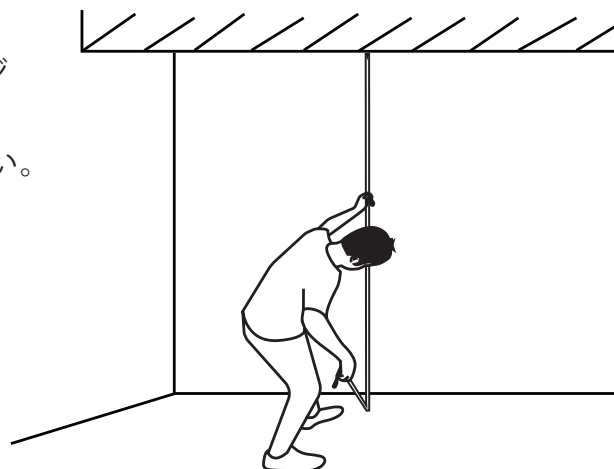


表 1

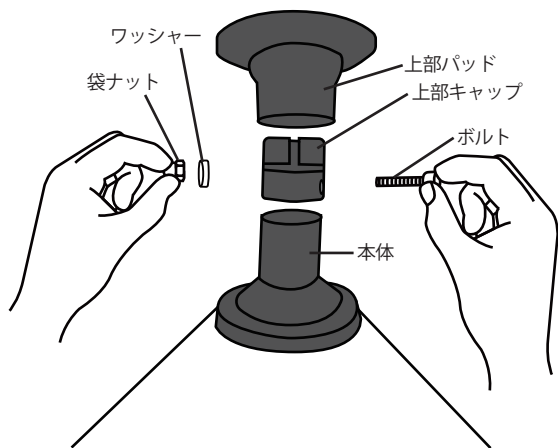
| 設置場所の床から天井までの高さ (cm) | | 本体に接続するポール | | | ボルトを差込む穴の組合せ | |
|----------------------|--------|------------|-------|-------|--------------|----------------|
| | | 天井ポール | 上部ポール | 下部ポール | 本体ポールの穴 | 差込むポールの穴 |
| 199 以上 | 201 未満 | 不要 | 不要 | ● | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 6 個目 |
| 201 以上 | 203 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 203 以上 | 205 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 205 以上 | 207 未満 | | | | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 5 個目 |
| 207 以上 | 209 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 209 以上 | 211 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 211 以上 | 213 未満 | | | | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 4 個目 |
| 213 以上 | 215 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 215 以上 | 217 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 217 以上 | 219 未満 | | | | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 3 個目 |
| 219 以上 | 221 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 221 以上 | 223 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 223 以上 | 225 未満 | | | | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 2 個目 |
| 225 以上 | 227 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 227 以上 | 229 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 229 以上 | 231 未満 | | | | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 1 個目 |
| 231 以上 | 233 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 233 以上 | 235 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 235 以上 | 237 未満 | 不要 | ● | ● | 上から 2 個目 | 上部ポールの上から 5 個目 |
| 237 以上 | 239 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 239 以上 | 241 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 241 以上 | 243 未満 | | | | 上から 2 個目 | 上部ポールの上から 4 個目 |
| 243 以上 | 245 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 245 以上 | 247 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 247 以上 | 249 未満 | | | | 上から 2 個目 | 上部ポールの上から 3 個目 |
| 249 以上 | 251 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 251 以上 | 253 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 253 以上 | 255 未満 | | | | 上から 2 個目 | 上部ポールの上から 2 個目 |
| 255 以上 | 257 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 257 以上 | 259 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 259 以上 | 261 未満 | | | | 上から 2 個目 | 上部ポールの上から 1 個目 |
| 261 以上 | 263 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 263 以上 | 265 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 265 以上 | 267 未満 | | | | 上から 1 個目 | |
| 267 以上 | 269 未満 | | | | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 3 個目 |
| 269 以上 | 271 未満 | | | | 上から 3 個目 | |
| 271 以上 | 273 未満 | 上から 1 個目 | | | | |
| 273 以上 | 275 未満 | ● | 不要 | ● | 上から 2 個目 | 下部ポールの上から 2 個目 |
| 275 以上 | 277 未満 | 上から 3 個目 | | | | |
| 277 以上 | 279 未満 | 上から 1 個目 | | | | |
| 279 以上 | 281 未満 | 上から 2 個目 | ● | ● | ● | 下部ポールの上から 1 個目 |
| 281 以上 | 283 未満 | 上から 3 個目 | | | | |
| 283 以上 | 285 未満 | 上から 1 個目 | | | | |
| 285 以上 | 287 未満 | 上から 2 個目 | ● | ● | ● | 上部ポールの上から 5 個目 |
| 287 以上 | 289 未満 | 上から 3 個目 | | | | |
| 289 以上 | 291 未満 | 上から 1 個目 | | | | |
| 291 以上 | 293 未満 | 上から 2 個目 | ● | ● | ● | 上部ポールの上から 4 個目 |
| 293 以上 | 295 未満 | 上から 3 個目 | | | | |
| 295 以上 | 297 未満 | 上から 1 個目 | | | | |
| 297 以上 | 299 未満 | ● | ● | ● | ● | 上部ポールの上から 3 個目 |
| 299 以上 | 301 未満 | 上から 2 個目 | | | | |
| 301 以上 | 303 未満 | 上から 3 個目 | | | | |
| 303 以上 | 305 未満 | 上から 1 個目 | ● | ● | ● | 上部ポールの上から 2 個目 |
| 305 以上 | 307 未満 | 上から 2 個目 | | | | |
| 307 以上 | 309 未満 | 上から 3 個目 | | | | |
| 309 以上 | 311 未満 | 上から 1 個目 | ● | ● | ● | 上部ポールの上から 1 個目 |
| 311 以上 | 313 未満 | 上から 2 個目 | | | | |
| | | | | | 上から 3 個目 | |

2. 天井ポールと上部ポールが必要な場合、以下手順にて接続してください。

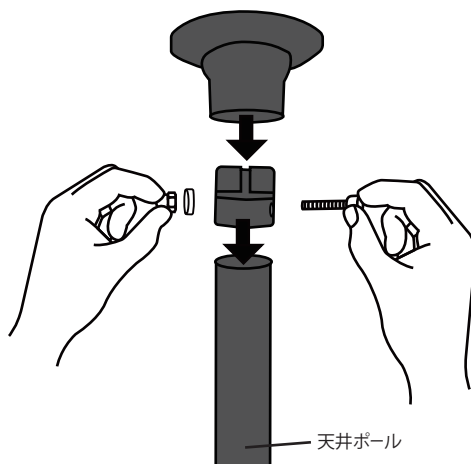
(表1で必要である事を確認した場合のみ)

【天井ポールの接続方法】

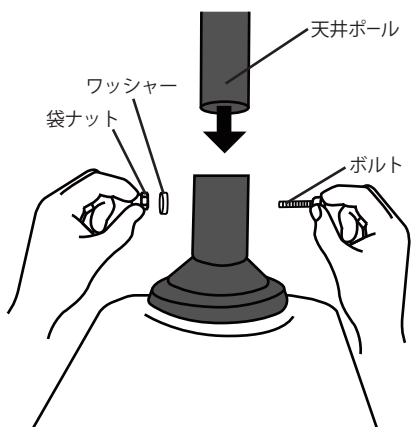
① ①本体の上部パッドを強く引いて取り外し、側面のボルト、ワッシャー、袋ナットを六角レンチで取り外して、上部キャップも取り外します。



② 先ほど取り外したものを、取り外したのと反対の手順で、②天井ポールの上側(径が太い方)に取り付けます。(ボルト・袋ナットはスパナと六角レンチで締め込んでください)



③ ②天井ポールを本体上部に差し込み、付属の⑥ボルト、⑦ワッシャー、⑧袋ナットで固定します。(ボルト・袋ナットはスパナと六角レンチで締め込んでください)

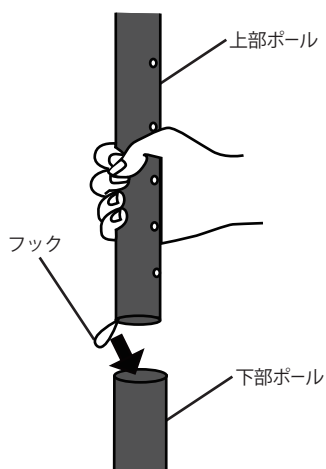


※②天井ポールを①本体に接続した状態。



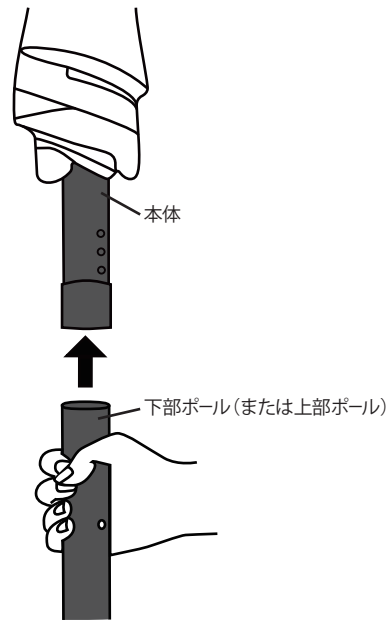
【上部ポールの接続方法】

③上部ポールのフックを④下部ポールの上側(下部ダイヤルパッドの無い方)に差し込んで、接続します。

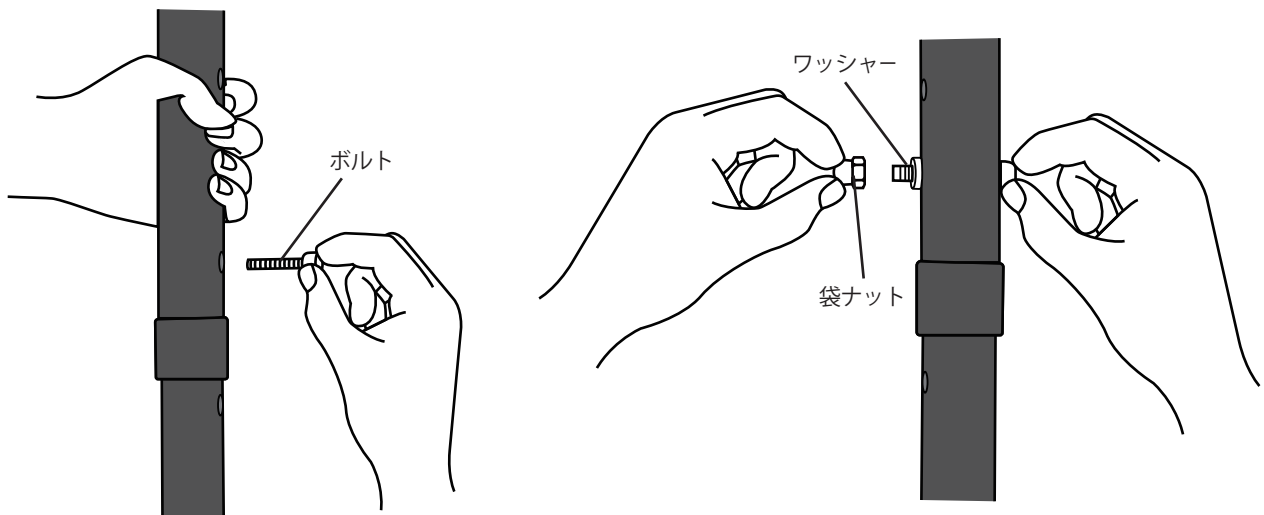


C. 本体と下部ポール(または上部ポール)の接続

1. ①本体に④下部ポール(上部ポール接続済みの場合は③上部ポール)を差し込みます。

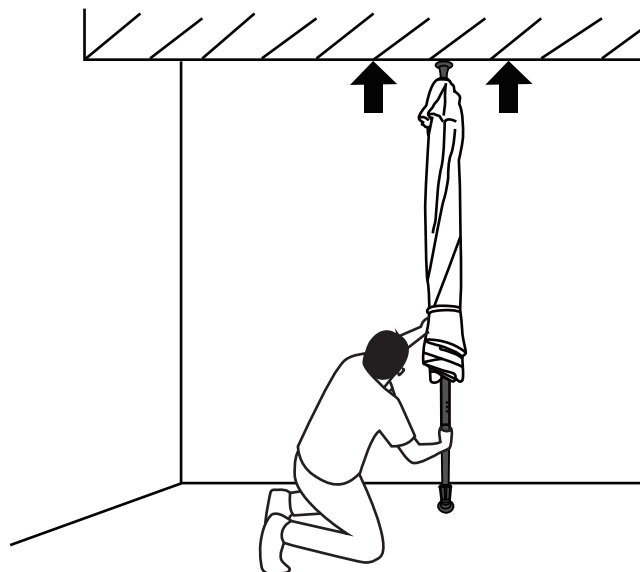


2. 表1より、ボルトを差し込む穴の組合せを確認し、付属の⑥ボルトを差し込み、⑦ワッシャー、⑧袋ナットをセットし、スパナと六角レンチで締め込んでください。



D. 本体の突っ張り固定

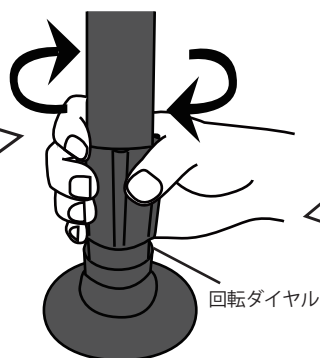
1. 本体と各ポールを接続したものを設置場所で垂直に立ち上げてください。



2. 本体が垂直状態になっている事に注意しながら、下部ダイヤルパッドの回転ダイヤルを時計回り(添付シール”棒が伸びる”方向)に回して突っ張り固定してください。

❶ 強制

突っ張り固定したら複数方向から見て、ポールの垂直具合を確認してください。
水平でない場合、回転ダイヤルを緩めてポールが垂直になる位置に調整して、再度回転ダイヤルを時計回りに回して突っ張り固定してください。



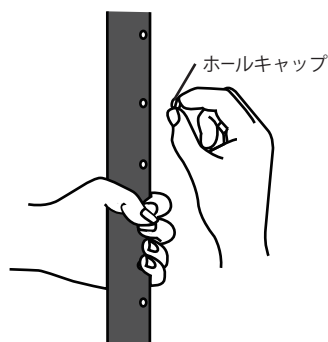
❶ 強制

突っ張り固定したら本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みがないことをご確認ください。
またこの確認は設置後も1週間に1度以上の頻度で必ず実施してください。

❶ 突っ張り固定したら少し離れた複数方向から見て、完全に垂直になっている事を確認してください。

❶ 垂直になっていない場合は下部ダイヤルを時計反対回りに回し、一旦緩めてから突っ張り直してください。

3. 各ポールの開いている穴に⑨ホールキャップを取り付けてください。

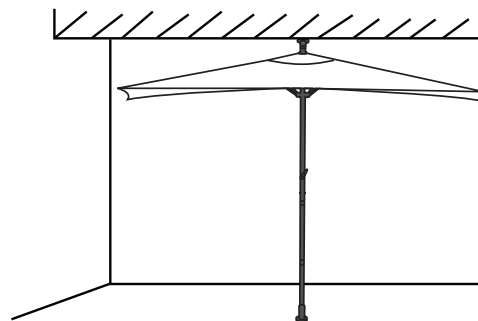
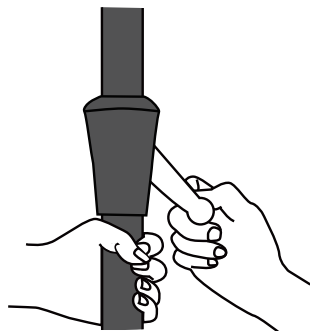


E. パラソルを開く

開閉ハンドルを時計回りに回し、パラシェードを開きます。

▲必ず時計回りに回し、カチャカチャ(歯車ロックの音)と音がする事を確認してください。誤って反時計回りに回してもパラソルは開きますが、内部の紐が切れたり故障の原因になりますのでご注意ください。

▲パラソルを開く際、親骨が間違った方向に可動し、途中で開閉ハンドルが回らなくなる場合があります。この場合は一旦開閉ハンドルを逆方向に回してパラソルを完全に閉じ、再度親骨が正しい方向に可動している事を確認しながらゆっくりと開いてください。



3. 設置の最終確認

取付状態の最終点検をしてください。

またこの最終確認で不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。更に設置後も、以下事項の点検を週に1回以上の頻度で必ず実施してください。

*本体を少し離れた複数方向から見て、完全にポールが垂直になっている事を確認してください。

*スパナと六角レンチを使用し、前項で接続したボルトと袋ナットがしっかり締まっている事を確認してください。

*本体のポール部分を握り、軽く揺らし、しっかりと突っ張っている事を確認してください。

*本体のポール部分を握り、軽く回し、しっかりと突っ張っている事を確認してください。

*開閉ハンドルを時計反対回りに回し、パラソルを一旦閉じてください。

その後何度か開閉を繰り返し、問題なく日々の開閉動作が出来ることを確認してください。

これで完成です。

パラシェードハーフ・クォーター・レクタングルで軒先を日差しから守り、快適なスペースとしてご利用ください。

4. 使用上の注意

- ▲ **注意** 本製品の parasol 生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
- ▲ **注意** 本製品の parasol 生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。
- ① **強制** 夜間や留守中等、人目から離れる際には、必ず parasol を閉じ、縫い付けのバンドで固定してください。
- ① **強制** 強風、大雨、大雪、その他悪天候の時はご使用にならないでください。
特に台風、豪雨、大雪等の悪天候の際には、事前に本製品を取外し、屋内にて保管してください。
- ① **強制** "3. 設置の最終確認" にある各項目の点検を週1回以上実施し、不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。
- ⊘ **禁止** 本製品に寄りかかったり、点検以外の目的で揺さぶったり、物を載せたり、引っ掛けたりしないでください。
- ⚠ **警告** 本製品は家庭の軒先に設置する、突っ張り固定式日よけオーニングです。
本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様による改造等はしないようお願い致します。

5. お掃除・お手入れについて

- * 日常のお手入れは、乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどく、洗剤を使用したい場合は、必ず対象洗剤の説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題ないことを確認してから広い面積にご使用ください。
- * 可動部分への潤滑油、金属部分のさび止め剤、生地部分の防水スプレー等の塗布は、必ずそれぞれの説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことを確認してから広い面積にご使用ください。

6. その他

本製品は重量があり、雨風等の影響を受ける屋外に設置するため、正しく取り付けてご使用にならないと本製品を破損するだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

設置・ご使用の際にはこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになり、正しくご使用ください。

設置後、絶対に倒れないという保証はありません。"3. 設置の最終確認" にある各項目の週1回以上の点検を必ず実施してください。